

SETOGIWA TIMES

発行所：行政書士塩見事務所 E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com
大阪市中央区谷町 2-5-4 702 号 Tel: 06-6946-9505

①正しいのはどっち？

人間は生身ですから感じ方・考え方の違い、意見の違いがあっても当然です。夫婦間で自分の思いをありのまま相手に伝えることは決して悪くないのですが、気をつけないと歯止めがきかなくなって思わぬ方向にそれるときがあります。

つい感情的な言い方になる、相手に対して思いこみでものを言う、勘違いに気がついて意地を張って訂正しない、ということが起こりがちです。意見を押し込める（封殺）、意見を見捨てる（黙殺）となれば事態はさらに悪化します。

なぜ相手の意見を押し込めたり、見捨てることになるのか？

「どうせ大したことなど言わない、聴くだけ無駄だ」と思うからです。

しかし大したことのない話でも相手が代わればニコニコしながら聞いているときがある、これが不思議です。（？）

それは話の中身ではなく話している相手が気に入っているからです。話題が何であっても相手に興味を持っていれば、その人の考えや意見を聴く気持ちになれますが、関心の持てない相手の場合はそうはならないということです。

話の中身そのものはあまり関係ないのです。



「人間はみんなそれぞれ個性が違うものだ」
「世の中にはいろいろな人がいる」と外では相手に応じて微調整するのに、同じことが家庭の中でできないのは、長年一緒にいる相手を第三者として客観的に見るのが難しくなっているからでしょう。

自分の側には「家族なのだから分かってくれて当然だ」という甘え・期待がある反面、相手に対しては「反応がずれている」「話が通じるように説明するのが面倒くさい」「何を言いたいのか分からなくてイライラする」など突き放した接し方になるようです。

① 無意識のひとつ



それだけでなくかみ合わない会話に不用意な発言があると、コミュニケーションのじゃまになるだけでなく相手の反発を招きます。人間のありようを決めてはいけない、先入観や偏見を持つてはいけないと分かっているにもかかわらず無意識にそういう発言をしてしまうときがあります。

頭のどこかにあることがコトバになって出るわけですから、無意識の発言は古い先入観や偏見が自分の中に残っていることを白状するようなものです。

例えば、「いい歳をして」「もういい歳なのに」という言い方はほとんど意味のない枕ことばで日常何気なく使っていますが、相手の置かれている立場によっては予想外の不快感を与えてしまうことがあります。

自分に向かって投げられた不用意な発言に敏感な人も、自分がそれを他人に向かって発しているときがある、ということには気がつかないようです。

① パートナーの選択

外見がいい、頭がいい、運動能力がすぐれている、今も昔もこんなところがパートナー選択の条件であるようですが、おすすめしたいのは「話していて面白い」「なんでも話ができる」と思える相手です。年月がたてば段々コミュニケーションが難しくなるのに、最初から会話がはずまない相手は他にどんなすぐれたところがあっても、長い目で見れば・・・と思われれます。

ほかにもできます：相続・遺言/交通事故/告訴・被害届/パスポート手続

E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com



精力絶倫の権化のように言われているオットセイは、争いを勝ち抜いた雄が一度に平均40頭、最大100頭超の雌を獲得するそうです。争いに負けた雄のその後の人生は？若い雄の中には再挑戦するものもありますが、多くはあきらめてはかない余生を送るとか・・・。